



高山西ロータリークラブ

例会報告

第 2630 地区 岐阜県 濃飛分區 創立 1966 年 1 月 15 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
- 大垣共立銀行 高山支店 4F
- 会長 折茂 謙一
- 幹事 米澤 久二
- 会報委員長 脇本 敏雄



「田舎侍と犬の小さな攻防」 蜘蛛 康介

<会長の時間>

高山西ロータリークラブには 2011 年-2012 年に大勢の新人会員の入会があり大変活気があります。新人会員の方々は、自分がロータリアンであるという実感が十分湧いてこないかもしれません。一人ひとりがロータリアンであり世界中のロータリアンと連携しており、世界中から必要とされ頼りにされています。世界には 200 以上の国にロータリークラブがありクラブ数は 3,400 以上、会員は 120 万人以上がいます。これらのロータリアンが世界各地でいろんな問題やニーズに対して幅広い奉仕活動を行っています。それらのニーズにこたえるため新しい方法を取りいれたり、方法を改善しています。最も大きな成果を収める持続可能なロータリーの奉仕活動は次の 6 つが挙げられます。

平和と紛争解決、疾病予防と治療、水と衛生、母子の健康、基本的教育と識字率向上、経済と地域社会の発展

ロータリーは世界中で幅広い活動を行い多方面にわたって多大の貢献をしています。我々はロータリアンであることによってその活動に参加していることとなります。



◎はぐるま会 会長より

- ・第 170 回はぐるま会開催のご案内

日時 7月29日(日) 13:00スタート
場所 飛騨高山カントリークラブ
会費 3,000円 申込締切 7/23

◎ぎふ清流国体高山市実行委員会より

- ・ぎふ清流国体巨匠火輪及び火輪歓迎イベントの開催について(ご案内)

日時 7月16日(月・祝) 午前11時から午後5時まで
会場 中山公園陸上競技場

<例会変更>

- 高山… 8月2日(木) は、納涼ゆかた例会のため 18:30~ 恵の久 に変更
- 8月16日(木) は、定款第6条第1節により休会
- 8月23日(木) は、夜例会のため 19:00~ 高山グリーンホテル に 変更
- 高山中央…7月16日(月) は、法定休日(海の日) のため休会
- 7月30日(月) は、納涼家族例会のため
- 8月3日(水) 18:30~ 高山市伝承館 に 変更
- 8月13日(月) は、定款第6条第1節により休会

<受贈誌>

- ロータリー財団(未来の夢ニュースレター2012.7)、
- 米山記念奨学会(ハイライトよねやま148)、
- 台北東海RC(会報)、可児RC(活動計画書)、
- 不破RC(活動計画書)、不破の関RC(活動計画書)

<幹事報告>

◎高山市外ミニバレーボール選手会、

高山市体育指導委員会より

- ・第 58 回高山西ロータリークラブ杯争奪高山市外ミニバレーボール大会について

日時 8月5日(日) 午前9時より
会場 飛騨高山ビックアリーナ

*開会式にてご祝辞を賜りたくお願い申し上げます



◎高山あすなろ会より

- ・第 37 回 飛騨児童・生徒木工工作コンクールご協賛のお願い

日時 9月14日(金)~16日(日)
会場 市民文化会館 3階 講堂

<出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	休会	のため	補正	ありま	せん
本日	41名	—	41名	50名	82.00%

奉仕を通じて平和を

例会報告

<本日のプログラム> 韓国派遣激励



7月25日より29日までの日程で韓国に派遣されますお二人に、激励金目録をお渡ししました。



飛騨高山高等学校

インターアクトクラブ部長

齊藤 花歩さん

高山西ロータリークラブの皆様には、いつも私たちインターアクトクラブの活動をご支援いただきありがとうございます。また今回、韓国派遣の機会を頂きました事に大変感謝しております。派遣選考の際に提出しました作文を読み上げまして、挨拶に替えさせていただきます。

私にとっての国際理解・国際奉仕

飛騨高山高等学校 3年 齊藤 花歩

以前、私は家族とマレーシアに行ったことがあります。夕食を食べに、近くの店に入りました。そこで店員さんに注文するとき、中学1年生の私はごちない英語を考えることしかできませんでした。言い出すに至らなかったのです。しかし、母は簡単な英語とジェスチャーを使って料理を注文してくれました。母の姿を見て、正確な文法よりもまずは伝えようとするのが大切なのだと気づかされました。

この時の思いを胸に高校1年の春、カナダにホームステイに行きました。今度は自分1人なので自分で伝えなければなりません。1日目はつぎはぎの簡単な英語でしたがいホームステイ先の方々は私の言葉を理解しようと心を開いて聞いてくれたので、小さな会話を楽しむことができました。2日目以降は大分自分らしく話せていると思います。一步踏み出せただけでなく、言葉や文化が異なる中でも自分の力で自分の思いを伝えることができました。そのことに大きな喜びを感じたのが、このホームステイでした。

私は、英語で言いたいことが伝わった時に喜びを感じた一方で、日本文化や日本語への思いが強くなりました。英語の授業でグローバル化の波に押されて、数多くの言語が地球上から消滅していることを授業で習い、英語以外の言語の消滅について関心をもちました。グローバル化と世界各地にある固有の言語の保護との調和が今後人類が考えなければならない課題だと思っています。確かに英語は世界で一番強力な言語であることは否定できませんが、世界に存在する少数言語に思いを馳せ、その言語を話す人々が持ち合わせている様々な文化に共感し、理解することがまず大切であると思います。世界の中でも特異な言語の一つである日本語を母国語とする私が、英語を話すことができるならば、もっと世界中の多くの人々と有意義な異文化交流をすることが可能であると思います。グローバル社会といわれる今だからこそ、英語以外にも目を向けてほしいと思います。そのために、できることならば私は英語を単なるツール以上のものになりたいと思っています。できれば自分の体の一部のように、母国語のように使いこなせるようになることが目標です。そのために私も英語の習得に精を出して、マイノリティの文化背景を持つ者として国際社会に貢献していきたいと思っています。これが私の考える国際理解・国際貢献です。

私にとっての国際理解

・国際奉仕

飛騨高山高等学校 3年
山本 安娜

私は、幼い頃から台湾に何度も行き、3ヶ月間だけ住んでいたこともあります。日常生活ではいつも親に訳してもらっていたため、特別不便を感じることはありませんでした。しかし現地の学校に通うことになったときは別でした。1ヶ月弱勉強して言葉を覚え、不安な気持ちで学校に行きました。聞き取れなかったり、分からなかったりで、言葉が伝わらないことが何度もありました。自分の思いが伝わらないことがこんなにも心細いことなのだと初めて知りました。けれども、そんな私に周囲は「ゆっくりでいいよ」と声をかけ、あたたかく励ましてくれました。その時私は、言葉は人と人がコミュニケーションをとるのに必要なだけでなく、人の心に温かさを伝えることができるものだと気づかされました。

現在、グローバル化が進んでおり、コミュニケーションツールとして英語がますます重要になっています。私の地元である飛騨高山は有名な観光地なのでなおさらです。1度外国人に道を聞かれたことかありました。その時、幼い私は簡単な英文しか習っておらず、その人が何を言っているのかは理解できたけれど、どう答えればいいのか全く分かりませんでした。相手が困っているのに答えられ



奉仕を通じて平和を

例会報告

なかった悔しさ、もどかしさが残ったことを今でも強く覚えていません。

これらの体験を通し、私は多くの人が共通語である英語を意欲的に学び、自分の考えを相手に伝え、互いに助け合うことが大切だと感じました。そうした些細なことから国際理解・国際奉仕に繋がっていくのではないのでしょうか。私が考える国際理解・国際奉仕は、自分の考えを伝え、相手のことを理解しようとし、互いに助け合いができるようになることです。そうすれば、今よりも良い国際関係が築き上げられるのではないのでしょうか。

言葉は時に人を傷つけ、時に人を温かい気持ちにさせます。その言葉を人と人が通じ合えることに使用していけば、各国の隔たりが消え、お互いのことを理解し合えるようになると思います。それが私にとっての国際理解・国際奉仕です。そして今、私は部活動を通してそれを実践しています。少しずつ活動の輪を広げるために、私はこれから積極的に行動し、世界の隔たりをなくせるように努力していきたいです。

飛騨高山高等学校

インターアクトクラブ顧問

荒川 一弘 先生

本日はありがとうございます。昨年年次大会ホストが終了しホッとした所ですが、今年度は飛騨地区協議会の担当となっております。今後ともご協力の程お願い申し上げます。



ガバナー補佐訪問



国際ロータリー第2630地区 濃飛グループガバナー補佐

上野田 隆平 様

いよいよ2012～2013年度がスタートします。濃飛グループを担当いたします、下呂ロータリークラブの上野田でございます。

ガバナー補佐の役目は、「ガバナーの地区運営などを補佐する」と規定されています。村橋元ガバナーの活動方針のキーワードである「不易流行」を常に念頭におきながら、各クラブの皆さんとともに活動させていただきたいと存じます。

「不易流行」の「不易」はロータリーの精神、活動で、これからも実践していかなければならないことをさしていると思います。一方、「流行」のほうは、時代に合わせて、あるいは活動にあわせて必要な変革を意味しています。会員の減少などロータリーの抱えるさまざまな事柄をスピーディーにかつスリム化した組織で長期的な観点（計画）で対処しようとするのです。

具体的には各クラブが「CLP」の導入を推進することが求められています。CLPの導入だけが目的となったならば、それは組織論であるとの批判を受けるかもしれません。各クラブが策定する中長期計画の遂行、効率の良い目標達成のための方法として、CLPの導入を検討していただければいかがでしょうか。

2630地区全体として、会員数は減少しています。幸い、濃飛グループについては増加に転じていますが、より一層の会員増強が喫緊の課題であることは明白です。CLPの導入によって、直ちに会員増強がかなうとは思われません。あわせて、不易であるロータリーの目的、目標を達成しようとする気概があつて始めて成就すると思います。

「不易」と「流行」をロータリー活動の両輪ととらえるなら、両輪をつなぐ軸は「友情」と「楽しさ」であり、空回りしないためのキー（滑り止め）は「参加」と言えるのではないのでしょうか。

「楽しいから参加する」・・・皆さんの積極的な参加をお願い申し上げます。一年間、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

決算・予算報告



2011-12年度会計 小森 丈一



2012-13年度会計 田近 毅

昨年度の大幅な会員増強のため、決算としては繰越金を多く残す事ができ、余裕を持った予算となりました。

例会報告

<ニコニコボックス>



●濃飛グループガバナー補佐 上野田 隆平 様

今年一年よろしくお願ひ申し上げます。

●高山中央RC 永井 信次 さん

久しぶりにメーキャップさせていただきます。よろしくお願ひします。

●折茂 謙一さん

- ①本日はガバナー補佐 上野田隆平様、御来高有難うございます。
- ②永井信次さん歓迎します。
- ③インターアクトクラブ荒川一弘先生、斉藤花歩さん、山本安娜さん、ようこそお越し下さいました。

●米澤 久二さん

濃飛グループガバナー補佐 上野田さんのご来訪ありがとうございます。ご指導よろしくお願ひします。飛騨高山高校荒川先生、インターアクトの生徒さん、よくいらっしやいました。先日荒川先生の授業を拝見しました。凛々しい姿に感激しました。

●小森 丈一さん

上野田ガバナー補佐のご来訪を歓迎いたします。この一年よろしくお願ひいたします

●阪下 六代さん、田近 毅さん

上野田隆平ガバナー補佐のご来会を歓迎申し上げます。

●鴻野 幸泰さん、道脇 清春さん、垣内 秀文さん、門前庄次郎さん

荒川先生お久しぶりです。ようこそおいで下さいました。

●遠藤 隆浩さん

- ①お祝いをいろいろありがとうございました。
- ②荒川先生ご苦勞さまでございます。

●平 義孝さん

先週誕生日のお祝ひありがとうございました。今日までの健康に感謝して。

●新田 敬義さん

- ①17代 成瀬会長の時に入会させていただきました。早いもので30年、記念品ありがとうございました。
- ②一週間遅れで申し訳ありませんが、折茂会長・米澤幹事の順調なスタートを祝して。

●東 庄豪さん

前回の例会出席出来ず失礼しました。新しい組織でのスタートです。私も積極的に参加させていただきますのでよろしくお願ひします。

●野戸 守さん

8日の西クラブゴルフコンペで運良く優勝、馬まで当たりました。

●垂井 政機さん

本日3時より大垣共立会の勉強講演会があります。小生も出席させていただきます。皆様も大垣共立会にどうぞ入会して下さい。

●大豆村 梅次さん

昨日名古屋の病院へ行き、進行状態を聞き何もありませんでした。嬉しく思っています。帰り1人電車の中でビールで乾杯。話し相手が欲しかった。本当に良かったと思います。

一期一会 山本 善一郎

高山西RCはこの50年間、150人以上のメンバーを受け入れ、今日があります。

入会当初、RCの精神、職業奉仕に対する考え方は、“I serve”であって、“We serve”でない。

職業をcallingまたはvacation（神から与えられた職業）と表し、それをいかに高めるかがテーマとなった時代でした。

RCの目標は、自分の仕事を、知り合いを広めることにより他より学び、自分を高める事が中心とされ、他の奉仕活動は二次的なものと思われる職業奉仕の位段づけでした。

30年ほど前、ガバナー訪問の際、「RCは社会の色々な活動をサポートすべきではないか」と私の発言に、「RCは奉仕の百貨店ではない、あなたの考えは間違っている、個人的にされるのは良いけれど、RCとしては良いとは言えない。」と言われた時もありました。

しかし、RCも時代の変化に対応して、進化しなければなりません。『日本経済は沈みつつある船である、しかし来客はどの窓から景色を眺めたらよいか右往左往している。』

26年前私が会長の時、堺屋太一さんの書かれた本の中の言葉です。